



# 発信！附特の魅力！

～2年目校長が感じた附特の魅力を伝えます～

大分大学教育学部附属特別支援学校

校長 野田幸代

## パート32：公開研究協議会

平成28年度の公開研究協議会は、県教委・大学関係者を始め、教職員等約70名の参加があり盛会に終わりました。参加者の感想を交えてお伝えします。



小・中・高等部と全ての学部の授業を拝見させていただきました。段々と将来に向け実践的な内容になっていて一貫性があり勉強になりました。(特別支援学校教員)

小学部分科会『自分から一連の活動到最后まで取り組む算数の授業づくり』

すっきりとした学習環境と、生徒の実態に沿った題材・教具が大変魅力的です。(中学校教員)



各クラスの工夫に驚くばかり。(保育園職員)

高等部分科会『生徒が活動に意欲的に取り組むための作業学習の授業づくり』

分科会では、学部の取組や学校の取組を知ることができました。疑問に思ったことなども聞くことができてよかったです。(特別支援学校教員)



講演会『意欲を高める授業づくりの工夫』  
—応用行動分析の視点から—  
講師：横浜国立大学 渡部匡隆教授

中学部分科会『自分で課題の解き方を判断しながら意欲的に学習に取り組む数学の授業づくり』



ABC分析による行動分析によって生徒がより理解しやすい状況になる。この学びが日頃の授業に生かせるようになりたいと思います。今の取組を振り返り、もう一度見直してみます。(高校教員)